

平成23年度元気な地域づくり交付金の事後評価結果について

(沖縄総合事務局)

都道府県	市町村	計画主体	地区名	事業メニュー名	事業内容	計画期間	事業実施期間	目標 (成果指標)	達成率(%) (H22年度末 現在)	評価結果			備 考
										計画主体	沖縄県	沖縄総合事務局	
沖縄県	今帰仁村	今帰仁村	渡喜仁第1地区	基盤整備促進	農業用排水施設 A=11.7ha	H18～H22	H18～H22	①農業用排水施設等の整備・保全により条件整備され、機能が確保された農地の増加面積 (11.7ha) ②整備された畑かん施設への満足度の増加割合 (80.0%)	①11.7ha 100.00% ②83.0% 103.75%	本事業により農業生産の基盤となる畑地かんがい施設が整備されたことで農業経営が向上するとともに、収益性の高い作物への転換が図られた。	施設満足度目標が達成されているとおり、本事業導入で末端かんがい施設が整備されたことで農業の生産性向上が図られている、また、作業効率改善により農家の生産意欲の向上と、農業経営の安定に向けた取り組みが可能となった。	畑地かんがい施設の整備により、農業用水の安定供給が可能となり、農業生産性の向上が図られたことから、本対策の効果が発揮されていると認められる。	
沖縄県	伊江村	伊江村	渡り地地区	基盤整備促進	農業用排水施設 A= 42.1ha	H18～H22	H18～H22	①農業用排水施設等の整備・保全により条件整備され、機能が確保された農地の増加面積 (42.1ha) ②高付加価値、生産性作物への転換 (7.7ha)	①—ha —% ②—ha —%	本地区は現在施工中であるが工事完了後には目標達成される見込みである。今後は、整備された末端かんがい施設により、かんがい作業に要していた労働及び経費が軽減され、農業生産の向上と農業経営の安定・確保が可能となる。	事業完了後は、農業生産基盤が強化され作物転換を含めた農業生産性及び営農意欲の向上が見込まれるが、工事の遅れにより、指標目標が達成できていない。 事業効果の早期発現に努めること。	平成23年7月末には、42.1haのすべての農地について畑地かんがい施設の整備が完了している。完了後は、農業用水の安定供給が可能となり、農業生産向上が図られていることから、本対策の効果が発揮されていると認められる。 なお、本年度末には高収益性作物への転換に係る検証が必要である。	
沖縄県	伊平屋村	伊平屋村	西銘・前泊地区	基盤整備促進	(西銘地区) 農道 A=5.4ha 農地保全 A=26.4ha (前泊地区) 農道 A=26.2ha	H18～H22	H18～H22	(西銘・前泊地区) ①農業用排水施設等(農道舗装)の整備・保全により条件整備され、機能が確保された農地の増加面積 (31.6ha) ②通作、農作物の輸送等における快適性に関する満足度の増加割合 (70%) (前泊地区) ①農業用排水施設等(農地保全)の整備・保全により条件整備され、機能が確保された農地の増加面積 (26.5ha) ②石礫除去による労働力及び営農経費節減による満足度の増加割合 (80%)	(西銘・前泊) ①26.2ha 82.91% ②— —% (西銘) ①21.0ha 79.55% ②— —%	本地区の事業完了予定である平成23年7月末には目標達成される見込みである。今後は事業導入による農用地保全整備及び農道舗装により生産性、農業経営の安定が可能となる。	事業完了後は、農業生産性及び営農意欲の向上が見込まれるが、工事の遅れにより、指標目標が達成できていない。 平成23年7月末には目標が達成され事業効果の早期発現に努めること。	平成23年7月末には、農道及び農地保全の整備が完了している。完了後は、農業生産性の向上が図られていることから、本対策の効果が発揮されていると認められる。 なお、本年度末には、農作物の輸送における快適性に関する満足度及び営農経費節減に係る満足度の検証が必要である。	

都道府県	市町村	計画主体	地区名	事業メニュー名	事業内容	計画期間	事業実施期間	目標 (成果指標)	達成率(%) (H22年度末 現在)	評価結果			備 考
										計画主体	沖縄県	沖縄総合事務局	
沖縄県	伊是名村	伊是名村	大野山地区	基盤整備促進	農業用排水施設 A=22.1ha	H18～H22	H18～H22	①農業用排水施設等の整備・保全により条件整備され、機能が確保された農地の増加面積 (22.1ha) ②サトウキビの反収増 (33.3%)	①22.1ha 100.00% ②-25.3% -75.98%	台風害等によりサトウキビの単収効果の目標が達成できなかったが、本事業導入により、末端かんがい施設が整備されたことで生産性向上と農業経営の安定に向けた取り組みが可能となった。	本事業導入により、農業生産性や生産意欲の向上と、農業経営の安定に向けた取り組みが図られた。サトウキビの単収についても達成が見込まれるが改めて検証の上、目標が達成されるよう努めること。	畑地かんがい施設の整備により、農家の生産意欲が向上し、農業経営の安定に向けた取組が図られたことから、本対策の効果が発揮されていると認められる。 なお、サトウキビの反収増については、次期収穫時に検証が必要である。	
沖縄県	うるま市	うるま市	与那城・桃原地区	基盤整備促進	(与那城地区) 農業用排水施設 L=516m(A=5.8ha) (桃原第1地区) 農道舗装 L=1,110m(A=5.9ha)	H18～H22	H18～H22	(与那城地区) ①農業用排水施設等(排水施設)の整備・保全により条件整備され、機能が確保された農地の加面積 (5.8ha) ②生産基盤の向上によりサトウキビから野菜等への転換 (30%) (桃原第1地区) ①農業用排水施設等(農道舗装)の整備・保全により条件整備され、機能が確保された農地の増加面積 (5.9ha) ②農道に係る維持管理費節減額 (18円m2/年)	(与那城地区) ①5.8ha 100.0% ②30% 100.0% (桃原第1地区) ①5.9ha 100.0% ②30円/m2/年 166.67%	本事業の導入により、農作物への冠水被害や粉塵被害の解消、荷傷防止が可能となったことで、農家の生産意欲、生産性の向上が図られた。	事業を導入により、農作物への冠水被害の防止や粉塵被害の軽減が期待できる。今後は、農業者の営農意欲の向上と、高収益性作物への転換等の農か経営の安定のための取り組みが可能となった。	排水路の整備により、農地の冠水被害が解消され、農業生産性の向上が図られたこと及び、農道のアスファルト舗装により、農産物の荷痛み防止、粉塵被害が軽減され農産物の品質向上が図られた。 また、農道に係る維持管理費の節減が図られていることから、本対策の効果が発揮されていると認められる。	
沖縄県	糸満市	糸満市	真栄平西地区	基盤整備促進	区画整理・農業用排水施設 A= 7.6ha	H18～H22	H18～H22	①農業用排水施設等の整備・保全により条件整備され、機能が確保された農地の増加面積 (7.6ha) ②収益性の高い作物の増加作付面積 (3.0ha)	①7.6ha 100.0% ②5.4ha 180.0%	本事業の導入により、畑地かんがい施設が整備されたことで、生産基盤が強化、野菜・花卉等の高収益性作物の作付面積が増加するなど、当地区の安定した農業経営の展開に向けた環境整備が図られた。	本事業により、農業生産基盤機能が強化、農業生産性が向上したことで、高収益性作物への転換等、農業者の営農意欲の向上が図られた。また、かん水作業等の営農作業が軽減されることにより農業経営の安定が見込まれる。	農地の区画整理及び畑地かんがい施設の整備により、農業生産性の向上、高収益性作物への転換が図られたことから、本対策の効果が発揮されていると認められる。	

都道府県	市町村	計画主体	地区名	事業メニュー名	事業内容	計画期間	事業実施期間	目標 (成果指標)	達成率(%) (H22年度末 現在)	評価結果			備 考
										計画主体	沖縄県	沖縄総合事務局	
沖縄県	八重瀬町	八重瀬町	東風平	基盤整備促進	農業用排水施設 A= 12.0ha	H18～H22	H18～H22	①農業用排水施設等の整備・保全により条件整備され、機能が確保された農地の増加面積(12.0ha) ②生産基盤の向上によりサトウキビから野菜等への転換(31%)	①12.0ha 100.0% ②24.1% 77.74%	本事業の導入により、排水機能が改善されたことで、農業生産の向上、農業者の営農意欲の向上が図られた。また、工事と作付時期の調整で達成できていないが、高収益作物への転換が進んでおり、今後、農業経営の安定とともに更なる転換が見込まれる。	本事業の導入により、農業生産基盤機能が強化され、生産性及び農業者の営農意欲の向上が図られている。尚、高収益作物への転換については目標達成できていないことから今後、地域での取り組みを推進し達成に努めること。	排水路の整備により、排水機能が改善され、農業者の営農意欲が向上し、農業生産性の向上が図られたことから、本対策の効果が発揮されていることが認められる。 なお、年度末にはサトウキビから野菜等への転換率について検証する必要がある。	
沖縄県	南大東村	南大東村	旧幕下第1・南地区	基盤整備促進	(旧幕下地区) 区画整理 A=16.5ha (南地区) 基幹水利補修 A=9.1ha	H18～H22	H18～H22	(旧幕下地区) ①農業用排水施設等(区画整理)の整備・保全により条件整備され、機能が確保された農地の増加面積(16.5ha) ②サトウキビ収穫作業時間の短縮(6.6hr/ha) (南地区) ①農業用排水施設等(基幹水利施設補修)の整備・保全により条件整備され、機能が確保された農地の増加面積(9.1ha) ②生産基盤の向上に係る労働節減(29分/回)	(旧幕下地区) ①16.5ha 100.0% ②6.6hr/ha 100.0% (南地区) ①9.1ha 100.0% ②29分/回 100.0%	本事業により、農業生産基盤整備及び基幹水利施設を補修したことで、作業効率及び土地生産性が向上、農家経営の安定に向けた条件が確保された。	本事業の導入により、農業生産基盤整備機能の強化、基幹水利施設補修による農業用用水の確保で農業生産性、営農意欲の向上が図られた。また、大型機械の導入、かんがい用水時間の短縮等により営農経費の削減による農業経営の安定が見込まれる。	農地の区画整理による大型機械の導入及び基幹水利施設補修により農業用水が確保されたことから、農業者の営農意欲が向上し、農業生産性の向上が図られた。 また、大型機械の導入が可能になったことにより、サトウキビ収穫時間が短縮されたこと及び、農業用水源が確保されたことにより、かん水作業に係る労働力節減が図られたことから、本対策の効果が発揮されていることが認められる。	
沖縄県	南大東村	南大東村	山内	基盤整備促進	区画整理 A=5.6ha	H18～H22	H18～H22	①農業用排水施設等の整備・保全により条件整備され、機能が確保された農地の増加面積(5.6ha) ②防風施設設置効果による農作物の増収量(4.253t/10a)	①5.6ha 100.00% ②－ －%	本事業により、農業生産基盤を整備したことで、作業効率及び土地生産性が向上、農家経営の安定に向けた条件が確保された。	本事業の導入、農業生産基盤整備機能の強化により農業生産性、営農意欲の向上が図られた。尚、地域目標となっている防風林の効果について現時点では樹高が低く達成の検証できないため、今回の評価の対象外とした。当該目標は長期的スパンを要するものであることから、事業完了以後において所定の効果発現迄の間は、定期的かつ持続的な維持管理に努めること。	農地の区画整理により、耕土流出の削減と機械化が可能になったことから、農業者の営農意欲が向上し、農業生産性の向上が図られた。 なお、防風林の効果については、今後、検証する必要がある。	

都道府県	市町村	計画主体	地区名	事業メニュー名	事業内容	計画期間	事業実施期間	目標 (成果指標)	達成率(%) (H22年度末 現在)	評価結果			備 考
										計画主体	沖縄県	沖縄総合事務局	
沖縄県	北大東村	北大東村	北秋葉第二地区	基盤整備促進	農業用排水施設 A= 17.2ha	H18～H22	H18～H22	①農業用排水施設等(貯水池)の整備・保全により条件整備され、機能が確保された農地の増加面積(17.2ha) ②生産基盤の向上に係る労働節減(10分/回)	①17.2ha 100.0% ②10分/回 100.0%	本事業の導入により、安定的な農業用水源が確保されたことで、生産基盤が強化、当地区の安定した農業経営の展開に向けた環境整備が図られた。	本事業により、農業生産基盤機能が強化、農業生産性が向上したことで、農業者の営農意欲の向上が図られた。また、かん水作業等の営農作業が軽減されることにより農業経営の安定が見込まれる。	農業用水源の整備により、安定的な農業用水が確保されたことから、農業者の営農意欲が向上し、農業生産性の向上が図られた。 また、かん水作業に係る労働力節減が図られたことから、本対策の効果が発揮されていることが認められる。	
沖縄県	宮古島市	宮古島市	大野地区	基盤整備促進	農業用排水施設 L=2,760m	H18～H22	H18～H22	①農業用排水施設等の整備・保全により条件整備され、機能が確保された農地の増加面積(31.5ha) ②生産基盤の向上による作付け品目数(2品目)	①22.7ha 72.06% ②一品目 －%	本地区は現在施工中であるが工事完了後には目標達成される見込みである。今後は、農業生産基盤の整備により、冠水被害が軽減されたことで効率的な農業経営の実現に向けた取り組みが可能となった。	事業完了後は、農業生産基盤が強化され作物転換を含めた農業生産性及び営農意欲の向上が見込まれるが、工事の遅れにより、指標目標が達成できていない。 工事完了予定である平成23年8月末には目標を達成し、事業効果の早期発現に努めること。	平成23年8月末には、31.5haの農地に係る排水路の整備が完了している。完了後は、冠水被害が軽減され、農業者の営農意欲が向上し、安定的な農業経営が図られるようになっていることから、本対策の効果が発揮されていると認められる。 なお、本年度末には作物転換の拡大に係る検証が必要である。	
沖縄県	宮古島市	宮古島市	皆福地区	基盤整備促進	区画整理 A= 22.2ha	H18～H22	H18～H22	①農業用排水施設等の整備・保全により条件整備され、機能が確保された農地の増加面積(22.2ha) ②サトウキビ機械収穫面積の増加率(40%)	①20.0ha 90.09% ②－% －%	本地区は現在施工中であるが工事完了後には目標達成される見込みである。今後は、農業生産基盤の整備により、農地の集団化と大型機械の導入が可能となり効率的な農業経営の実現に向けた取り組みが可能となった。	事業完了後は、農業生産基盤が強化され優良農地が確保されることで農業生産性及び営農意欲の向上が見込まれるが、工事の遅れにより、目標が達成できていない。 工事完了予定である平成24年3月末には目標を達成し、事業効果の早期発現に努めること。	平成24年3月末には、区画整理の整備が完了する予定で、完了後は大型機械の導入が可能となり、生産性の向上が図られる見込みである。 なお、サトウキビの収穫機械導入面積の増加については、次期収穫後に検証が必要である。	
沖縄県	宮古島市	宮古島市	ピサタ地区	基盤整備促進	区画整理 A= 21.0ha	H18～H22	H18～H22	①農業用排水施設等の整備・保全により条件整備され、機能が確保された農地の増加面積(21.0ha) ②サトウキビ機械収穫面積の増加率(40%)	①21.0ha 100.0% ②46.5% 116.25%	本事業の導入により農業生産基盤が整備されたことで、農地の集団化と大型機械の導入が可能となり効率的な農業経営の実現に向けた取り組みが可能となった。	農業生産基盤が強化され優良農地が確保されたことで農業生産性及び営農意欲の向上が可能となった。また機械による収穫率が向上しており効率的な農業経営に向けた条件が整備された。	農地の区画整理により、サトウキビの機械収穫が可能となり、農業者の営農意欲が向上し、農業生産性の向上が図られたことから、本対策の効果が発揮されていると認められる。	

都道府県	市町村	計画主体	地区名	事業メニュー名	事業内容	計画期間	事業実施期間	目標 (成果指標)	達成率(%) (H22年度末 現在)	評価結果			備 考
										計画主体	沖縄県	沖縄総合事務局	
沖縄県	宮古島市	宮古島市	カギモリ地区	基盤整備促進	区画整理 A= 17.2ha	H18～H22	H18～H22	①農業用排水施設等の整備・保全により条件整備され、機能が確保された農地の増加面積(17.2ha) ②サトウキビ機械収穫面積の増加率(40%)	①17.2ha 100.0% ②40% 100.0%	本事業の導入により農業生産基盤が整備されたことで、農地の集団化と大型機械の導入が可能となり効率的な農業経営の実現に向けた取り組みが可能となった。	農業生産基盤が強化され優良農地が確保されたことで農業生産性及び営農意欲の向上が可能となった。また機械による収穫率が向上しており効率的な農業経営に向けた条件が整備された。	農地の区画整理により、サトウキビの機械収穫が可能となり、農業者の営農意欲が向上し、農業生産性の向上が図られたことから、本対策の効果が発揮されていると認められる。	
沖縄県	宮古島市	宮古島市	宮古島第2地区	基盤整備促進	基幹水利施設補修 A= 517.4ha	H18～H22	H18～H22	①農業用排水施設等の整備・保全により条件整備され、機能が確保された農地の増加面積(517.4ha) ②施設整備による操作時間短縮(240hr/年)	①517.4ha 100.0% ②240hr/年 100.0%	本事業の導入で安定した農業用用水が供給されることで、農業者の生産意欲の向上、効率的な農業経営の実現に向けた取り組みが可能となった。	本事業により、安定した農業用用水の供給が可能となったことで、生産性の向上や、多品目栽培等、営農環境の向上が図られた。また、従来人力制御であった流量制御が自動化されたことで、より効率的な用水配分が可能となり労力削減も図られている。	定圧定流量弁の整備により、管路の破損事故がなくなり、安定的な農業用水の供給が可能となったことで、農業者の営農意欲が向上し、農業生産性の向上が図られた。また、流量制御に係る労働力削減も図られたことから、本対策の効果が発揮されていると認められる。	
沖縄県	石垣市	石垣市	伊原間地区	基盤整備促進	かんがい排水施設 A= 65.0ha	H18～H22	H18～H22	①農業用排水施設等の整備・保全により条件整備され、機能が確保された農地の増加面積(65ha) ②採草地におけるかんがい作業時間の短縮(33hr)	①65ha 100.00% ②34.3hr 103.94%	本事業により、農業用排水施設整備(畑地かんがい施設の更新)されたことで、農業用水の供給及び農業経営の安定が図られた。又、施設の老朽化による故障や不具合が解消され、水管理労力の軽減が図られた。	本事業により、老朽化したかんがい施設を更新整備され、散水作業の利便性が向上した。又、維持管理も軽減され、営農意欲の向上と農業経営の安定がに向けた取り組みが可能となった。	畑地かんがい施設の更新整備により、安定した農業用水の利用が可能となり、農業者の営農意欲が向上し、農業生産性の向上も図られた。また、かんがい作業の効率化により労働時間の短縮も図られるようになったことから、本対策の効果が発揮されていることが認められる。	
沖縄県	竹富町	竹富町	山田野地区	基盤整備促進	暗渠排水施設 A= 25.7ha	H18～H22	H18～H22	①農業用排水施設等の整備・保全により条件整備され、機能が確保された農地の増加面積(25.7ha) ②サトウキビ適期植付面積割合(37%)	①25.7ha 100.00% ②－% －%	本事業により、農業用排水施設整備(暗渠排水)されたことで、農業生産性が向上し、サトウキビの適期植付が可能となった。今後は、生育不良要因の解消による単収の増加、農業者の営農意欲の向上、生産拡大が見込まれる。	農業生産基盤が強化され優良農地が確保されたことで農業生産性及び営農意欲の向上が可能となったが、地域目標が検証できていない。 データ収集が可能となる平成24年3月末には検証し、事業効果の早期発現に努めること。	暗渠排水施設の整備により、農地の排水不良が解消され、機械の導入も可能となり、農業者の営農意欲が向上し、農業生産性の向上も図られた。 なお、サトウキビ適期植付面積の増加については、今期の作付データを用いて検証する必要がある。	